

45年目の新しい絆

副校長 武内 伸輔

6月25日(土)～26日(日)に姉妹校の富山県の射水市立金山小学校に5・6年生31名の児童とPTA、保護者ボランティア、金山交流を支える会、教員総勢52名で行って来ました。

姉妹校交流は、太平洋戦争中の昭和19年に猿楽国民学校の児童が、金山国民学校に集団疎開したことに始まります。当時の金山村の村長は「金山の子供たちには芋を食わせても、猿楽からきてさみしい想いをしている子供たちには白いお米を食べさせてやれ。」と言ってくださった



大歓迎のもと金山小学校に迎えられました。



疎開時の宿舎の翁徳寺で当時の話を聞きました。

そうです。

その後も交流を続け、昭和53年から正式に姉妹校としての活動が始まり、今年で45年目を迎えます。この2年間は新型コロナウイルス感染症予防のため実際の往訪、来訪はできませんでしたが、タブレット端末を用いてのオンライン交流を続けてきました。

今回の往訪の代表児童を選ぶにあたり、希望者全員に作文を書いてもらいました。その中に多くの児童が「オンラインで会っていた金山小学校の人たちに実際に会いたい。」というのが多数ありました。また、金山小学校の保護者の方から「今までは児童同士が打ち解けるまでに時間がかかって、やっと帰る時になって仲良くなるのに、オンラインで会っていたおかげか、今回は打ち解けるのが早い。」とおっしゃっていました。

コロナ禍で様々なことが変わりました。その中で良いものは残し、新しいものを取り入れて伝統をつないでいこうと改めて感じました。

来年度は金山小学校の5・6年の児童が猿楽小学校に来訪します。46年目の新しい伝統をつかっていきたいと考えております。ご協力をお願いします。



歓迎の花火大会

登下校中の熱中症対策について

熱中症対策を取り、安全に登下校できるようにご家庭でもご協力をお願いします。

※家を出る前に十分に水分補給をする。

※人との距離を取ってマスクを外す。

○冷却タオルなどを首に巻くことや、日よけとして傘を使用なども構いません。